

おしむら歯科は なぜ小児矯正で成長を続けるのか

臨床・組織作り・地域戦略のすべて

小児歯科の成功ノウハウを 経営&臨床のハイブリッドで解説します!

機能的マウスピース矯正装置などを活用した小児矯正が注目を集めています。小児矯正を成功に導くためには、装置の臨床導入はもちろん、クリニックの組織作り、スタッフ教育、地域連携などの幅広い要素がかかわり、小児矯正を軸とした構造の変化が求められます。本書は、おしむら歯科・こども矯正歯科クリニックにおける失敗を含めた奮闘の記録です。

子どもの未来を確実に変える小児矯正の設計図をぜひご覧ください。

詳しい
情報は
コチラ



【著】押村 侑希

おしむら歯科・こども矯正歯科クリニック

おしむら歯科は なぜ小児矯正で 成長を続けるのか

臨床・組織作り・地域戦略のすべて

押村 侑希 著
YUKI OSHIMURA



月刊デンタルダイヤモンド人気連載

「ゆき先生のこども歯科はじめよう」が
待望の書籍化!

小児歯科の成功ノウハウを
経営&臨床のハイブリッドで解説します!

デンタルダイヤモンド社

AB判・132頁・オールカラー 本体8,000円+税

Contents

PART 1 押村侑希はなぜ小児矯正を目指したのか

PART 2 成功する小児矯正クリニックのつくり方

- 1 小児矯正に最も必要だったもの
- 2 地域貢献に本気で取り組み得たものとは
- 3 「内製化」がもたらした多くの変化
- 4 「設備投資」の重要性
- 5 おしむら式人材育成—自ら考え、動くスタッフを育てる仕組み
- 6 成果と変化—育成がもたらした医院の進化
- 7 従業員満足度が顧客満足度を高める
- 8 地域に愛される医院の条件
- 9 地域ブランディングの考え方と実践

PART 3 スタッフに聞く「おしむら歯科ってどんなところ?」

- Interview 01 成長が加速する場所
- Interview 02 多職種の力で“未来の歯科医療”をつくる場所
- Interview 03 学び続ける姿を見て、私も変わった
- Interview 04 挑戦する楽しさを教えてくれた場所
- Interview 05 食と口の“両輪”で子どもの未来を支える
- Interview 06 患者さんの“人生全体”を支える管理栄養士として 他

PART 4 機能から形態をつくる小児矯正症例集

- CASE 1 強い自己動機づけで治療が加速した叢生症例
- CASE 2 下顎前突・低位舌・中顔面劣成長に対する成長期早期介入の一例
- CASE 3 父親の積極関与で改善が加速した下顎前突症例
- CASE 4 5|3の萌出障害に対する段階的拡大と牽引の併用例
- CASE 5 |2の永久歯先天性欠如に対し歯列を誘導した症例
- CASE 6 スポーツ活動を継続しながら行った非抜歯矯正 他